NEWS RELEASE

各位

2026 年 11 月 24 日
セレンディップ・ホールディングス株式会社
（コード：7318　東証グロース）
エクセル株式会社

セレンディップ・チャレンジ 1000 の海外戦略を推進、タイで初の海外グループ合同展示会を開催
～グループ各社の強みを結集し、国境を越えた顧客接点と商談機会を拡大～

セレンディップ・ホールディングス株式会社（本社：名古屋市中区、代表取締役社長兼 CEO：竹内　在　以下、当社）のグループ会社であるエクセル株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：髙橋　直輝　以下、エクセル）は、2026 年 10 月 27 日、タイにおいて、エクセルのお取引先である Toyota Motor Asia 向けのグループ合同展示会を開催しました。当社グループが海外で合同展示会を開催するのは、今回が初めてとなります。

当社グループでは、M&A を通じて拡大した顧客基盤と各社の技術・製品・サービスを相互に活用し、グループ横断での提案活動を推進しています。海外においても、グローバルでの生産・販売ネットワークを生かし、販路の拡大に取り組んでいます。

本展示会は、中期経営計画「セレンディップ・チャレンジ 1000」で掲げる海外進出戦略の一環です。グループ各社の強みを結集した提案を通じて、既存顧客との接点を深め、海外での新たな商談機会の創出を目指しています。

当社は、アジア・太平洋地域、特に ASEAN を「グローバル展開の中核ハブ」と位置付け、既存顧客への供給拡大と、新規海外 OEM サプライチェーンへの参入を進める方針です。エクセルや、同じく当社グループ会社である株式会社サーテックカリヤ（本社：愛知県刈谷市、代表取締役：大橋　享）が事業拠点を有するタイでの今回の合同展示会を、こうした地域戦略のもと、グループの技術・製品・サービスを海外の顧客に提案する取り組みと位置付けています。

■グループ各社の強みを結集し、海外での提案機会を拡大

本展示会には、セレンディップ・グループ 5 社※が参加しました。Toyota Motor Asia に対し、当社グループ各社の技術・製品・サービスを紹介する機会を設けました。

各社の技術やノウハウを一堂に紹介することで、個社ごとの提案にとどまらず、グループ全体の強みを生かした提案につなげることを目指しています。今回の海外初開催を、既存の海外事業基盤を活用し、顧客との接点を広げる一歩と位置付けています。

今後は、海外の顧客ニーズの把握に努め、各社の技術・製品・サービスを組み合わせた提案を進め、海外でのクロスセルと販路の拡大につなげてまいります。

※参加企業：三井屋工業、ユニクレア、エクセル、サーテックカリヤ、APEX（順不同）





合同展示会の会場の様子



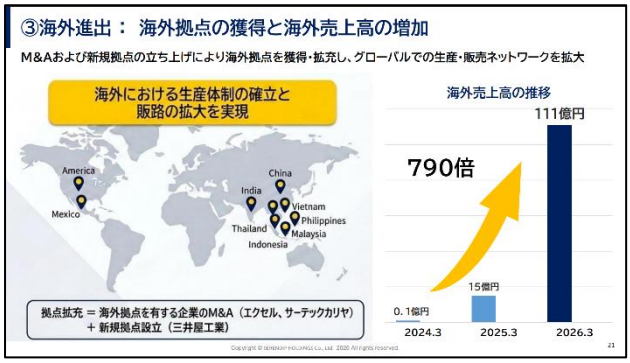
参加したグループ各社のメンバー

■ASEAN を中核に、グローバルでの生産・販売ネットワークを拡大

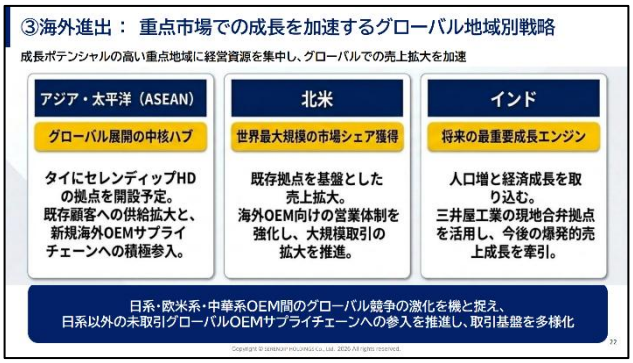
当社は、2026 年 6 月 25 日に発表した中期経営計画「セレンディップ・チャレンジ 1000」において、M&A および新規拠点の立ち上げにより海外拠点を獲得・拡充し、グローバルでの生産・販売ネットワークを拡大する方針を掲げています。ASEAN では、当社のタイ拠点の開設を予定しており、同拠点を中核に、クロスボーダーM&A を通じたアジアでのグループ拡大を推進する構想です。

当社グループの海外売上高は、2026 年 3 月期に 111 億円となりました。M&A や新規拠点の立ち上げによって広がった海外事業基盤を生かし、さらなる販路の拡大を目指しています。

今後も、グループ各社の顧客基盤と技術・製品・サービスを生かした海外での提案活動を通じて、既存顧客への供給拡大と新たな販路の開拓を進め、グローバルでの売上拡大を目指してまいります。



P21 ページ



P22 ページ

■ 会社概要

セレンディップ・ホールディングス株式会社

本　　社	愛知県名古屋市中区錦一丁目 5 番 11 号
設　　立	2006 年 8 月
代 表 者	代表取締役社長兼 CEO　竹内　在
U　R　L	https://www.serendip-c.com/
事業内容	経営受託及び事業再生、投資事業、経営コンサルティング

エクセル株式会社

事業所	東京都中央区京橋 2 丁目 10 番 2 号　ぬ利彦ビル 7 階
設　立	1970 年 4 月
代表者	代表取締役社長　髙橋　直輝
URL	https://www.3d-excell.com/jp/
事業内容	自動車関連部品の開発、製造、及び販売

【本件に関するお問合せ先】

セレンディップ・ホールディングス株式会社

IR 広報担当：E-mail: pr@serendip-c.com